

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	一般市中病院における surgical rescue (侵襲的治療に伴う合併症に対する外科的治療)の現状
研究責任者	肝胆膵外科 山本博崇
研究実施体制	聖隷浜松病院 山本博崇
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2023年10月7日
対象者	2021年1月から2023年4月に当院外科で緊急または準緊急で手術を施行した患者さん786名
研究の意義・目的	<p>最近 Acute Care Surgery 領域において surgical rescue が注目を浴びています。米国の研究では surgical rescue を Acute Care surgeon が担当することにより予後の改善が得られた、との結果もあり、本邦でも surgical rescue を Acute Care Surgery の専門領域とすべく議論が進められています。しかし、侵襲的治療に伴う合併症は多種多様であり、どの部分を Acute Care Surgery の専門領域に含めるべきかは定かではありません。</p> <p>本研究では、当院における合併症の現状を後方視的に調査し、Acute Care Surgery の専門領域とするべき surgical rescue について検討します。</p>
研究の方法	全786例について、年齢、性別、入院日、入院科と病棟、合併症の診断日、診断名、手術日、手術担当医師、手術術式、手術時間、出血量、転帰を調べ、その中で Acute Care Surgery team が対応した症例は何例あり、その合併症率・手術時間の中央値・出血量の中央値・予後(生存率)を算出します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 肝胆膵外科 山本博崇 TEL:053-474-2222(代表) 肝胆膵外科外来 9:00~17:00 平日